

不倫もダダ漏れ LINEの盲点

新年早々の不倫報道に「ドキッ」とした人もいるのではないかな。
なぜプライベートなやりとりが流出したのか。可能性を探った。

キーボードの脇に、新婚の妻がいたてのコーヒーを置いてくれた。その瞬間、
〈今度、会おうよ〉

元カノからの「LINE」のメッセージが、パソコン画面にポップアップで浮かび上がった。画面を注視する妻の表情は氷のように冷たい。

「やばい……油断した」
心の中でそうつぶやいたWE B制作者のシンジさん(39)Ⅱ仮名Ⅱは、自他ともに認める遊び

人。妻と3カ月前に結婚するまで恋人が途切れることはなく、複数の女性と付き合うのも日常茶飯事だった。

結婚後もその姿勢は変わらな
い。6歳年上の妻は寛容な性格だが、もちろん「浮気公認」ではない。それゆえ、いつ浮気がバレてもごまかせるように、意中の女性と密会するときは「仕事だけで2人きり」と妻に話してから出かける。すぐにわかるうそは絶対につかない。

携帯電話の管理もぬかりない。使用するのは、一部で「不倫携帯」と名高い富士通製のスマートフォン(スマホ)。この機種は指紋認証だけでなく、虹彩認証を取り入れているので、寝ている間にロックを破られる心配はない。セキュリティ管理は万全のはずだったが、仕事用のパソコンでLINEを同期させたことが失敗だった。

「入力もしやすいし、すぐに返事ができるので、LINEもパソコンでもやると便利だなというくらいの気持ちでした。初歩的なミスです」

謝罪会見前日のやりとりまで

元カノは妻も知っている女性だったため、すぐに状況を察知されて「家族会議」に。シンジさんは言い訳の限りを尽くした

が、結局「2人きりで会うことは絶対にしない」と誓約させられた。

いま、LINEの「流出」が国民の関心事になっている。

1月初旬、「週刊文春」がタレントのベッキー(31)とロックバンド「ゲスの極み乙女。」のボーカル・川谷絵音(27)との「密会」をスクープした。既婚の川谷が昨年12月からベッキーとのホテル泊を繰り返し、今年1月4日にはベッキーが長崎市にある川谷の実家を訪れたことを写真付きで報じた。なかでも衝撃的だったのは、LINEによる2人の赤裸々なやりとり。川谷が離婚届を「卒論」と言い換え、「ちゃんと卒論書くから待って欲しいな」と書き込めば、ベッキーが、
〈大丈夫だよ！ 卒論提出できたら、けんちゃん(注・川谷のこと)にいつばいワガママ聞いてもらおうとー！笑〉と返信。続報では、2人が直撃取材を受けた後、ベッキーが1月6日に謝罪会見を開く前日のやりとりまで掲載された。

川谷〈逆に堂々とできるキツカケになるかも〉

ベッキー〈私はそう思ってるよー！〉

川谷〈ありがとう文春！〉
ベッキー〈オフィシャルになるだけ！〉

会見で涙を浮かべて謝罪したベッキーの姿とはかけ離れたやりとりで、批判が巻き起こった。

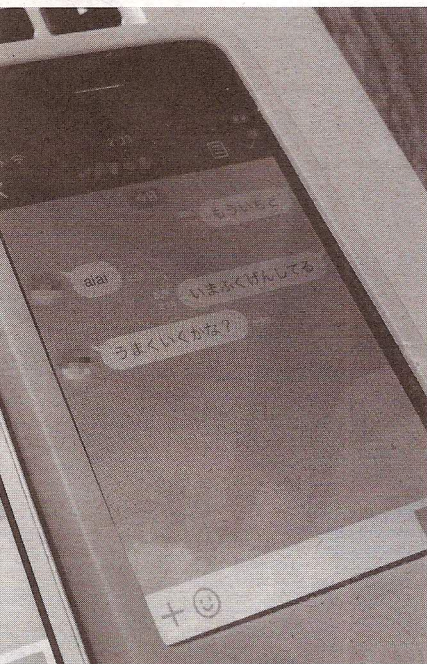
それはともかく、LINEのやりとりが、どうして外部に漏れたのか。週刊文春には、川谷側のLINEのトーク画面の写真が掲載されている。とういことは、川谷のスマホにアクセスできた人物がいたことになる。最も単純な方法は、スマホのロックを突破して、LINE画面の写真を撮ることだが、それが可能な人間はかなり限られる。

妻も触れない スマホなのに…

川谷に近い芸能関係者は言う。「最初は不倫を疑った川谷の妻がスマホを操作して写真を撮ったのかと思われていましたが、実は2人は、昨年末から少なくとも1月6日までは会っていません。つまり、その間は妻が川谷のスマホに触れる機会はなかったのに、なぜか画面が流出してしまった」

妻でさえ触れられなかったスマホに誰がアクセスできたのかもししくは、手元にスマホがなくともLINEの画面をのぞき見る方法があるのか。

原則として、LINEは一つのアカウントで、スマホ、パソコン、iPadなどの各デバイスにつきそれぞれ1端末ずつしか同時ログインできない。IDとパスワードさえ正しく入れればあちこちの端末からアクセスできるツイッターやフェイスブックとは違う。





スマホは1端末からしかログインできないはずなのに、2台のiPhoneに同時にLINEが表示された。ITジャーナリストの三上洋氏が実験した

機種変更時に 暗号化すると…

四つの可能性を順に検証してみよう。

まず①の場合。就寝中や入浴中などに何者かが暗証番号や指紋認証でスマホのロックを解除し、LINEを起動して情報を手に入れる方法だ。だが、前述のように週刊文春にはベッキーの謝罪会見前日のやりとりまで

ITジャーナリストの三上洋氏は、身近な第三者がLINEの会話を手に入れる方法として、①手動でスマホのロックを解除

②遠隔操作できるアプリなどをスマホにインストール

③iPad版のLINEで見る④他の端末にLINEの「クローン」をつくる

の4パターンを挙げたうえで、こう言う。

「今回のケースでは④の「クローン」が使われた可能性が非常に高いと思います」

掲載されている。2人が直撃取材を受けた後に、スマホを不用意に放置するとは考えにくい。

②の遠隔操作できるアプリとは、スマホにインストールすると、パソコンから遠隔でそのスマホの位置情報やショートメッセージの確認、録音などができるもの。「盗難・紛失防止」の名目で、海外製品が複数存在するが、犯罪に利用されるケースも多い。しかし、第三者が同種のアプリを川谷のスマホにインストールしたとしても、LINE自体を開くことはできない。川谷がLINEを操作している間なら、その画面のスクリーンショットを撮影することはできるが、すべてのやりとりを盗むのは難しい。

③に関しては、何者かが川谷のアカウントでiPad版のLINEにログインしておけば、iPadでやりとりを見られる。パソコンの場合、一定期間を過ぎるとログアウトしてしまうので、スマホに「別の端末でログ

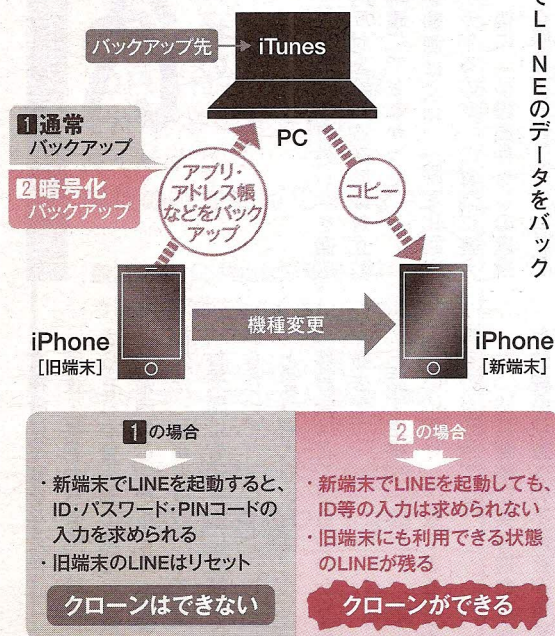
インした」という通知が行ってしまうが、iPadは一度ログインすれば、通常はその心配がない。だが、三上氏はこの可能性は低いとみる。

「週刊文春の掲載画像は、1行の文字数などからスマホ版のレイアウトに見えます。さらに、画像のアイコンの形が昨年2月のアップデート以前のもののなので、しばらく電源を入れていなかった機種変更前の端末の可能性が高いと思います」

そこで最後に浮上するのが、三上氏が有力とみる「クローン」をつくる方法だ。本来1アカウントにつきiPhone1台でしか使えないはずのLINEが、特定の条件下では別のiPhoneでも使えてしまうのだ。

左の図を見てほしい。通常、iPhone同士で機種変更を行う際、旧端末をパソコンのソフト「iTunes」に同期させてLINEのデータをバック

“LINEクローン”ができる仕組み



携帯チェックは 違法なのか？

アップし、新端末にコピーする。その際、「iPhoneのバックアップを暗号化」を選択すると、旧端末にもLINEが使え

「旧端末を自宅に放置する人は多いのですが、キャリアとの契約が切れていてもWi-Fi経由などで接続はでき、新しいメッセージも閲覧できてしまう。今回話題になる前から、ネットの一部では「LINEのトーク履歴を消さない裏技」と言われていた方法です」（三上氏）

LINE広報に聞くと、「原因はiTunesおよびiPhoneの仕様によるもので、技術的な対応を進めている」との回答だった。

だが、いくら浮気や不倫の証拠をつかむためとはいえ、私信とも言えるLINEのやりとりを盗み見たり、保存したりすることに違法性はないのだろうか。離婚や不倫に詳しいフラクタール法律事務所の田村勇人弁護士はこう語る。

「スマホにLINEのやりとりが保存されていれば、それを見たり、写真を撮ったりすることは違法ではありません。配偶者でも第三者でも同様です。もちろん裁判の証拠としても採用されます。ただ、クラウドなどに保存されているデータをIDやパスワードを入力してダウンロードすると、不正アクセス禁止法違反にあたるので注意が必要です」

また、のぞき見たスマホのやりとりも、保存するまでは合法だが、不特定多数に公開すると訴えられる恐れがあるという。「インターネットや週刊誌などで公開すれば、プライバシー権を侵害したとして、損害賠償を請求される可能性があります。報復行為のようなことはすべきではありません」（田村氏）

探偵事務所プライベート・シヤドীর坂井利行代表によると、配偶者のスマホを見て、証拠を集めてから浮気調査を依頼する人が増えているという。依頼者に「LINEクローン」を教えることもあるというから、心当たりのある人は要警戒だ。